

講座だより



【講師による解説】

令和3年10月27日（水）にテーマ別講座である『林業体験学習の手法と安全管理』を実施しました。この講座では受講者が実際に人工林の中で間伐体験プログラムを体験しながら学びました。講師は現役の林業従事者の中村氏と小林氏です。またこの講座では、間伐プログラムの手法だけでなく、安全管理についても、体験したプログラムを紐解きながらご指導をいただきました。安全管理の講義ではホールアース自然学校の大嶽氏より、野外体験での基本的な考え方を学びました。

【午前】林業体験学習の手法「間伐体験」

午前中は富士宮市猪之頭地区の人工林で、間伐プログラムの体験を行いました。今回のプログラムでは対象者を小学生に設定し、間伐について子どもでも分かり易い説明の仕方や、安全に体験をさせるには、どのようなプログラムが良いのかを学びました。ただ話すだけでなく紙芝居を使いイラストで説明する方法、参加者がしっかり森林を観察できるように、実際に触れたり匂いを嗅がせること、正しい道具の使い方や伐倒後の観察の進め方など、実際にプログラムを受けることで講師の様々な工夫を知ることができました。



【解説と間伐体験の様子】

【午後】林業体験学習の安全管理

【安全管理の講義の様子】



午後は、午前中の間伐体験プログラムを紐解きながら、講師の中村氏と小林氏が配慮していた視点や安全管理について学びました。参加者に安全に伐倒させるためにはロープを掛けて方向を決めることや、切り易く足場の良い場所の木を選定するなど事前の準備が重要であることを知りました。また具体的に分かり易い適切な声かけをするなど、安全に体験学習を行うためには様々なポイントを抑えながらプログラムを組み立てることが大切であると学びました。安全管理の講義では、基本となるリスクマネジメントの考え方について講義がありました。

＜発行元＞